

巻頭
記事

1月新年例会『令和3年度新年賀詞交歓会』開催

1月新年例会を終えて

新年例会新入会員アトラクション感想

卒会にあたり／彩気煥発～さいきかんぱつ～／2月例会に向けて

『人間力を磨く』vol.5「伝わる文章力・豊かな表現力を磨く」

『irotoridori』／現役No.1～彩～／厄落としの会／新店オープン

新入会員／2月役員会報告

Be a player

No.391

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 奥森秀夫 ◆編集責任者／担当 副会長 渡邊公平 ◆制作・編集 第47期広報委員会／委員長 下村英一

1月新年例会『令和3年度新年賀詞交歓会』開催



令和4年1月14日、西部青年中央会1月新年例会賀詞交歓会が、多くのOB会員の皆様方にご列席をいただき、ANAクラウンプラザホテル米子において2年ぶりに開催された。本年は、コロナ禍での開催とあって飲食なしでの開催となった。

まず1月入会となった柳谷雄大会員、吉川直樹会員への新入会員バッジ授与が行われた。

続いて奥森会長挨拶では、OB会員への感謝を述べられた後、上期の全事業の報告及びコロナ禍の中ではあったが上期に予定していた全事業を開催できたことに触れられ、これは今期のスローガンである「彩～Be a player～」を会員一人一人が実践できたためであること、そして、下期に対するさらなる飛躍について語られた。

その後OB会員が紹介され、御樽及び様々な方々からの御祝電が披露され、新年のさらなる飛躍と参加者一同の御多幸を記念して、参加者一同の大きな掛け声に合わせ、鏡開きが行われた。そして、福田一哉OB会会長のご発声で乾杯が行われ賀詞交歓会が幕を開けた。

OB会員と現役会員の交流が行われる中、高塚直前会長から挨拶があり、OB会員への感謝を述べられた後、46期の活動について振り返られ、コロナ禍での1年であったが、英知・友愛・団結で47期にバトンを渡すことができたことを述べられ、先輩方から受け継いだ中央会魂を伝えていくことを約束された。

その後壇上で47期の役員紹介がされる中、永井県会長から県での活動報告及び今後予定している事業



内容について触れられ、下期の活動に対する意欲を語られた。

また、昨年新年例会が中止となりOB会員に挨拶をする機会がなかった第46期新入会員の挨拶が壇上で行われた。

引き続き、継続事業であり5月に開催される「お地蔵様プロジェクト」につ

いて高塚実行委員長及び安達副実行委員長により説明・PRが行われた。PRにはなんとマスコットキャラクターである「にこっさとま」も登壇し、プロジェクトの成功に向けた思いを現役会員一同で共有した。

そして、毎年恒例となっていた新年例会に華を添える新入会員アトラクションでは、7名の新入会員が2色のサイリウムを使った光のダンスを力強く、かつ、華麗に披露し、ダンスの最後には昨年の新年例会で披露する予定であった第46期新入会員のいがい太鼓の演奏映像との見事なコラボレーションとともにフィナーレを迎え、会場を魅了した。

その後新入会員からそれぞれの中央会活動に対する熱い思いが語られた。

コロナ禍での開催とあって、1時間半という限られた時間ではあったが、2年ぶりの新年例会で、昨年開催できなかった46期の分を含めてOB会員と現役会員との交流、そしてそこに確かにある中央会魂を感じることが出来る素晴らしい、そして意義のある新年例会となった。

最後に浜田一哉OB会副会長から中締めの挨拶があり、大盛況のまま1月新年例会賀詞交歓会は閉幕となった。



(記事：小原)

1月新年例会を終えて



この度は、2年ぶりに新年例会賀詞交歓会を無事に開催する事ができましたこと、まずもって御礼申し上げます。例会開催当日まで西部地区の新型コロナウイルス感染症の感染者数が増大する非常ににくい中、本当に多くのOB会員の皆様、現役会員の皆様にご参加頂きまして、名刺交換や思い出話に花が咲くなど、笑顔の絶えない時間をすごされる姿を拝見し、開催できて本当に良かったと感じております。改めて人と人の繋がりは、リモートなどのツールが増えようとも身近で温度の感じられる方がより強いものになるのだと感じました。また、今期のテーマ【彩】を体現してくれた新入会員の皆様も、忙しい中時間を割き団結してまとまっていく姿もたくましく思いました。こういった事柄と経験を今後の社会人として、また会の活動において何かの気づきになれば幸いです。本当にありがとう、お疲れ様でした！

最後に、委員会メンバーの皆様には感謝しかありません。内容が変更になる度に確認と共有を親身になって向き合ってくれたからこそ無事に事業を終える事ができたと思います。本当にありがとうございました！

総務委員会委員長 景山 慎也
(サンククリーン株式会社 取締役営業部長)

新年例会新入会員アトラクション感想

政治行政委員会 大江 史紀 (株式会社島津組 LIXIL不動産ショップ島津組 店長)



皆様、新年例会お疲れ様でした。第47期新入会員アトラクションリーダーを務めさせて頂きました政治行政委員会所属、株式会社島津組の大江史紀と申します。未だ終息の目途が立たないコロナ禍における制約の中、現役会員、OB会員の皆様が一つとなり滞りなく執り行えたのは、総務委員会の皆様、役員の皆様を中心に、一人一人が団結して取り組んだ賜物であったと存じます。皆様本当にありがとうございました。さて、この度のアトラクションにて光のダンス、通称「オタ芸」を披露させて頂きました。約3か月の練習期間がありましたが、全員の息が合ってきたと実感し始めたのは、本番まで残り1週間を切ったあたりでした。皆、業務が忙しい中ではありましたが、光輝くサイリウムで例会を彩るべく闊達に意見を出し合い、汗だくで練習に励み、そして尋常ではない筋肉痛とも戦いました。本番を無事終えた時、団結して成し遂げた達成感と、改めて新入会員同士の絆を実感することが出来、この活動を通して貴重な機会を頂いたこと、一同感謝申し上げます。

～卒会にあたり～

柏木 克仁 (有限会社育成 専務取締役)



今しか経験できないこと、いつでも出来そうですが、本当に良かったと思える経験は、なかなかできないことだと思います。中央会に入会したのが第43期の終わる6月例会でした。新入会員としてバッジ授与、そして挨拶をさせていただいたことを昨日のことに感じます。しかも6月例会！43期の集大成として独特の雰囲気がある中を経験させていただき「これが中央会か！」と思い、やっていけるのか不安も抱きながらのスタートとなりました。委員会や例会へ積極的に参加して、顔と名前を覚えてもらうことが大切だと諸先輩方からアドバイスをいただき、なんとか時間の都合をつけて参加させていただきました。しかし、その後の懇親会までは気が進まず理由をつけて欠席する日々が続く中、副委員長を経験させていただいてから世界が一変しました。委員会や例会も大切ですが、その後に膝を突き合わせて語り合う懇親会や事業に向けた準備の過程で本気で取り組む姿勢、時には自分の未熟さを知り、時には色々な方への配慮など、事業を成功させていくプロセスにとっても大切なことがあることに気付かされました。短い期間ではありましたが、一生に1度の人生。その1ページに中央会活動を通じて皆様と懇親を深め語り合えたことは、今後の人生を歩んでいくための貴重な財産となりました。自己満足させていただき本当にありがとうございました。

彩気煥発 ～さいきかんぱつ～

四字熟語「才気煥発」の意味には才能が輝くこととあります。中央会を彩る、キラリと輝く会員を紹介します。

総務委員会 渡會昂佑 (株Sun-in Social Communication取締役)

山陰で全国の若者が羨むロールモデルになる。そしてここに来れば明るい未来が描けるといふ生き証人となること。これが27歳の私にとっての30歳までに実現したい未来です。

そんな私の“彩能”は、物怖じしないトライできるということ、そして本質を問いつけるということです。失敗は怖く、メンタルは弱いですが、好奇心と訳のわからない使命感に駆られ、とりあえずやってみよう精神があります。そしてたくさん迷惑をかけ、怒られます。落ち込んで、たくさん空回りして、死にたくなることもあります。それでも、その後また好奇心と使命感がやってきます。どこに向かっているのか、何が良い(善い)のか、動いて問うて動いて問うて…



2月例会に向けて

ビジネス経営委員会委員長 谷村祐也
(美保テクノス株式会社 営業部 主任)



「幸福」とは何でしょうか？この度、2月例会では「幸福は最高の善なり!？」をテーマとし、ウェルビーイング経営について学ぶ例会を開催いたします。ウェルビーイングとは、肉体的にも精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされた状態にあることを言います。

一人ひとりのウェルビーイングの向上が企業の業績や成長にどう影響するのか。本例会を通して、皆様に学んでいただきます。

現代はVUCA(変動性・不確実性・複雑さ・曖昧さ)時代です。そして、依然として新型コロナウイルスの猛威が収まっていません。だからこそ今、我々は「幸福」の概念の変遷を認識する必要があると考えます。人々が「良く在る」ことが企業のサステナビリティ及び成長のカギになってくるのではないのでしょうか。

「寅、千里を走る」の勢いで開催に向けて準備をしています。また、例会当日は「幸福の黄色い丼」もご用意していますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

人間力を磨くvol.5 “伝わる文章力・豊かな表現力を磨く”

株式会社新日本海新聞社西部本社へ取材に伺いました。

第1編集部/渡部直哉(リーダー)、
中西悠介、川口慎司、今川圭一

「人間力を磨く」をテーマにスポットを当てた連載も今回で5回目となりました。仕事やプライベートでメールやSNSを通して文章で伝えることが増えてきた昨今。今回は「文章で伝える力」にスポットを当て、文章表現力のスペシャリストである新日本海新聞社西部本社へ取材に伺いました。

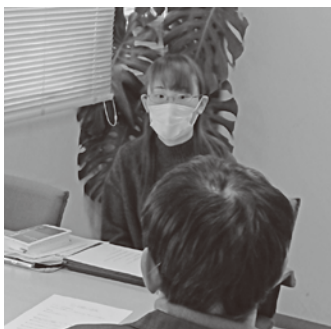
～会社について～

日本海新聞は地方新聞の中で、普及率は国内第3位。昨年の5月には発刊45周年を迎えた。1番の強みは地元ニュースの多さ。どんな小さなことでも記事にすることで地域の活性化につながる。報道が主な仕事ではあるが、鳥取県内を「活性化」させる為に文化事業、スポーツ事業など様々な方策を取り事業展開している。大事なのは地域の文化を絶やさないことである。

「文章で伝える力」について

株式会社新日本海新聞社西部本社 編集部 報道課 平塚千遼氏にお話を伺いました。

平塚氏は主に南部町と伯耆町の地元記事を担当されています。



～取材を行っていく上で気を付けていることはありますか～

新聞は影響力の大きいメディアなので、情報の取り扱いに関する「責任感」が大事です。

取材先にはほぼ毎日顔を出すようにしています。相手と誠実に向き合いコミュニケーションを取ることで、次に繋がる「信頼関係」を作っていくように心がけています。

～読者の心をつかむ文章表現について～

新聞記事は「客観的」に書くのが大原則です。記事によっては記者の身近な視点から記事を書くこともあります。これは読者の方にも親しみやすい内容にしたいときに有効です。

文章を書く際にはテーマを決めて書きますが、重要なことを先頭に持っていきます。

次にテーマの概要を載せ、後半に補足事項を載せます。

結論が最初だと読者の目を引きやすく、その方が内容が伝わりやすいです。



文章を書く前に重要な部分だと思っても書き進めていく中で文章の構成的に違っていたことに気づくこともありますので、そこは臨機応変に対応していきます。

また、広報誌、社内報などで限られた文字数で文章を書く必要がある場合、全体を同じ文量で書くと長くなるので、大事な部分を一番長く、不要な部分を思いきって削除していくことが大事です。

情報は全て書き出し、必要に応じて削除をしていくことが大事です。これはビジネス文書やメールでも活用可能です。

～伝えるための写真撮影についても伺いました～

記事になる際の見出しなどを想定して読者の目を引く写真のアングルを考えて撮影します。楽しい話題の際は「笑顔」の写真など状況に適した表情のある写真を考えています。写真で記事の内容がわかるようにするのが理想です。

そのため事前に写真の構図をイメージし、考えてから撮影に臨みます。私は2,000～3,000枚くらいを撮影し、その中からベストな1枚を選んでいきます。

それでも納得のいかないときは撮り直しをすることもあります。

～中小企業が自社広報活動を行っていく上でのアドバイスについて～

株式会社新日本海新聞社西部本社 総務局長 長谷部一生氏
地域プロデュース局PR推進課 主任 伊藤嘉郎氏にお話を伺いました

例えば新聞だけで広告を出すのではなく、テレビやHP等、色々な窓口を作ることが大切です。色々なメディアと関係を持ち各種媒体で情報を発信していくことが重要で、自分たちの想定していなかった方たちへの情報発信も出来る場合があります。

そうすることで知らないうちに企業や商品のイメージが定着し、自然と知名度が上がります。

今後はSNSやアプリを使っていくことも重要ですね!



取材を終えて

取材中、日本海新聞のスマホ向けアプリがあることを教えていただきました。私のスマホにインストールして実際に使ってみた所、横読みにも対応しており紙媒体では記事を探すのに苦労しますが、電子媒体だとすぐに見つけられ便利でした。スクラップ機能もあるようです。

外出時に空いた時間にスマホでネットニュースを見ますが、同じような感覚で見ることができ地元ニュースが見れるのは良いサービスだと思います。新聞購読者「個人」ならば無料でサービスを受けられるので皆様ぜひご活用してみてください。

(第1編集部/川口)

irotoridori

第47期 副会長 渡邊 公平

「おしゃれは足元から」という言葉がありますが、私は昔から靴が好きで取分けスニーカーが大好きでした。そんなスニーカーにおいて人気が出るモデルはスポーツ選手のプロモデルや、ミュージシャンや俳優などのインフルエンサーが履いたモデルで、その事で人気に火が付く事がよくあります。その様な情勢で私の知る限り経営者が履いて唯一人気が出たスニーカーがあります。それはアップルの創業者であるスティーブ・ジョブズの履いたスニーカーです。彼のプレゼンは有名で、新製品を説明して世界を変える製品を世に送り出しましたがその時のスニーカーで彼なりの拘りのあるファッションでした。今ではオフィスカジュアルという言葉も浸透していますがビジネスファッションにおいても新たなスタイルを確立した先駆者ではないかと思っています。

皆さんの足元を彩る靴ですが一歩一歩、歩みを進めるのに大切な道具ですし、足は全身の健康に重要な役割を担っているのでジョブズ氏のように今一度自分のスタイルに合った靴を拘って探してみたいかがでしょうか。

現役No.1～彩～

ビジネス経営委員会 山内 正樹
(有限会社サンユービルド 代表取締役)

高校時代は硬式野球部に所属していました。そんな私が紹介したいのは漫画「クロース」です。舞台は高校球児からかけ離れた「鈴蘭高校」という超有名なヤンキー高校。そんな鈴蘭高校に突如現れた一匹狼の転校生「坊屋春道」が校内や周辺高校、暴走族と喧嘩をしまくるというお話。男気や友情を感じるストーリーも面白いのですが各キャラの服装にも注目、中でも主人公・春道の代名詞スカジャン、武装戦線というチームのバイカーファッションは本当にかっこいい。高校野球を終えた頃、当時「リアルクロース」と呼ばれた先輩方に影響を受け、地元で働くという決断をしたのもこの漫画があったおかげかもしれません。

というわけでスカジャン着こなし現役No.1!



政治行政委員会



やなぎ たに ゆう だい
柳 谷 雄 大

B型

株式会社柳谷ファーム
取締役社長 農業
〒689-3531 鳥取県米子市下新印1206
TEL:0859-27-0476 FAX:0859-27-5158

R04.01(R03年度)入会
(推薦者)中村(友)
長谷川(恵)

〈コメント〉この度1月に入会させていただきました(株)柳谷ファームの柳谷雄大です。今回お誘いをいただいた縁で大事に中央会では皆様方との活動を通じ、様々な物事に挑戦していきたいと考えています。何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

総務委員会



よし かわ なお き
吉 川 直 樹

O型

株式会社 寺子屋ウェーブ
工場長 菓子の製造・卸し・販売
〒684-0025 鳥取県境港市本町9
TEL:0859-42-3600 FAX:0859-42-3600

R04.01(R03年度)入会
(推薦者)田中(健)
景山(慎)

〈コメント〉この度入会させて頂きました(株)寺子屋ウェーブの吉川と申します。所属は総務委員会となりました。鳥取県で交流持つなら中央会に入会したらいいよとの勧めがあり入会を決めました。中央会にて多くを学ばせていただき、伝えていく側になれるように頑張ります。至らぬ点もございますがご指導のほどよろしくお願い致します。

厄落としの会



地域彩り委員会 恵比木 健
(株式会社松本油店 課長)

令和4年1月8日 厄年を迎えた13名の会員で勝田神社に参拝しました。この一年間を平穏無事に過ごす為、厄払いのご祈禱を賜りました。写真を見ていただければお分かりの通り、ご祈禱後は皆、当日の天気同様に晴れやかでとてもスッキリした顔をしています。

厄年とその前後は体調や仕事などでも変化が多い時だと言われています。厄払いをしていただきましたが、我々は多忙な経済人。常時平穏無事とはいかず、不測の災いが降りかかることはあると思います。もちろん解決の為に正面から向き合いますが、どうしても行き詰る時は「厄年だから仕方ないか…」と、どこかで逃げ道を作り、心の余裕を持つことも必要かもしれません。

また、今回集合した会員は昭和55・56・57年生まれであり申・酉・戌年の年代です。鬼ヶ島で偉業を成し遂げたチームワーク抜群の猿・キジ・犬。来るべき当会50周年に向けて、我々の年代もより一層団結して、中央会を盛り上げていきましょう。



新店オープン

県出向理事 徳中太慈
(大連 代表)

第47期県出向理事を務めます徳中です。昨年8月に大連2号店となる『台湾酒場だんだん』を東京都港区にOPENさせて頂きました。当会OBでかばはうすホールディングス株式会社代表取締役松田幸紀OBのお声掛けの元、か



ばさんを中心とする4社9業態が集まる横丁内の一角です。コロナ禍でのスタートということもあり、順調な滑り出し!とはいきませんが、家族やスタッフをはじめ全ての人にやって良かったと思ってもらえるような結果を残していきたいと思います。食で人を幸せに!これからも少しずつですが前に進んでいきます。よろしくお願いします。

2月役員会報告

令和4年2月1日(火)ZOOM会議にて2月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・1月新年例会報告の件
- ・鳥取県中小企業青年中央会の件
- ・次年度会長候補者指名推薦上程の件
- ・2月例会開催の件
- ・3月例会開催の件

※なお詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

今年度の干支は寅年、各メディアでも今年はトライ(寅)の年と様々な所で報じています。

僕も今年度は色々トライしてみようかなと思うこの頃です。そろそろ独身脱却を考えて、先ずは婚活アプリでも寅い(トライ)でも…何方かご教示をお願いします!

(広報委員会 中西悠介)